

報道関係者各位

2022年11月8日 配信 No.2022-27  
立命館アジア太平洋大学 (APU)

## 2022年11月1日付 APU在籍学生数決定 同時に在籍する学生の出身国・地域数が開学以来最多を記録 102ヵ国・地域からの国際学生2,694名、国内学生2,997名が在籍

秋の卒業・入学を受けて、2022年11月1日付の在籍学生数が確定しましたのでお知らせいたします。

11月1日時点で、102ヵ国・地域からの国際学生<sup>※1</sup>2,694名と、国内学生2,997名の計5,691名が在籍しています。2022年秋セメスターは、開学以来初めて、同時に在籍する学生の出身国・地域数が100を超えるとともに、**開学以来最多102ヵ国・地域からの国際学生が一堂に会しキャンパスでともに学ぶこと**となります。なお、2000年の開学以来の国際学生の受け入れ国・地域数は163ヵ国・地域<sup>※2</sup>となりました。

APUのキャンパスでは対面での学生の活動や交流が活発に行われるようになってきました。APUは、今後もオンラインやデジタルを活用しつつ、多言語・多文化環境での学びを提供して参ります。

※1 国際学生とは、在留資格が「留学」である学生をいう。国内学生には、在留資格が「留学」ではない在日外国人を含む。

※2 学部・大学院・非正規生含む

### 2022年度秋 国際学生 在籍数上位10ヵ国・地域



キャンパスで行われた“Indonesian Week”  
オープニングパレードのようす (2022年11月1日撮影)

	国・地域	学生数 (学部・大学院・非正規生含む)
1	韓国	441
2	インドネシア	403
3	中国	382
4	ベトナム	226
5	タイ	222
6	バングラデシュ	127
7	台湾	100
8	ミャンマー	74
9	インド	66
10	モンゴル	53

### 今秋の在籍学生出身国・地域の特徴

新たにAPUコミュニティに加わった国・地域は下記の2ヵ国：

**エスワティニ王国 (アフリカ)、ベラルーシ共和国 (欧州)**

### 圧倒的な多文化・多言語環境を開学時から維持

APUでは、「学生の国際学生比率50%」「50ヵ国・地域以上の出身」「教員の外国籍比率50%」の「3つの50」を開学時より目標に掲げてまいりました。今後も多様な文化背景を持つ若者が混ざり学び合う、圧倒的な多文化・多言語環境を維持し、教育・研究活動に邁進します。

「国・地域別学生数 (2022年11月1日付)」の一覧は、公式ウェブサイトからご覧いただけます。

→ <https://www.apu.ac.jp/home/about/content250/>

(Home > APUについて > 情報公開 > 立命館アジア太平洋大学について > 学生数等データ)